

2022 年度 土下座祭り特別講義

船川八幡宮宮司 実行委員会委員長 まる新若連中頭取

### 【レポート抜粋】

地域貢献、人的資源として

- ・「若者の力はありがたい」という黒田さんの言葉を聞いて、子どもや若者の地域活動への参加が少子高齢化の影響で減少している
- ・こういった祭りなどで地域を活性化していくことは今後私たちが関わっていく福祉でもとても大事なことだと思う
- ・地域の方々との関りとしてその地域の祭りを通じてコミュニティを活性化することができるのではないか

地域の紐帯を強化する

- ・伝統の重要性と祭りを通して地域の人々の協調性をより強いものにする効果を知ることができた
- ・福祉職が、地域を思う高齢者と地域を思う若い世代を繋ぐ架け橋のような存在になれるのではないか
- ・私はお祭りの意義として人と人が交流できる場というものが大きいと考えています

福祉人として役立つ

<地域理解・生活理解>

- ・祭りや行事ごとは楽しいだけでなく、歴史や地域性の学びにもなる
- ・地元の祭りについてより深く知ることが地域性の理解やそこに住む人々の生活史を知る上で大切なこと
- ・利用者さんの生活歴を知るために新見の文化について話すことができるよう土下座まつり以外のことも知らなくてはならないと考えさせられました

<コミュニケーション・情報>

- ・地域の行事に参加することによってその土地に住んでいる人との関わりが深くなる
- ・祭りの思い出を語ることで利用者間のコミュニケーションのきっかけになったり、ゆっくりと思い出にひたって落ち着くことも出来る
- ・新見若連中の方が言っていたようにこの地域をどうすればいいか考え、地域の中で活動をすることで、地域の方々との関係性を築くことができる
- ・高齢者の方と土下座まつりについて語り合えることで、昔を懐かしみ、これからの活力へとつながるのではないかと思います

<地域アセスメント・課題解決>

- ・講師の皆様のお話から土下座祭りへの情熱を感じる事ができた
- ・何か一つの事を成功させるために人が集まって協力するという人の繋がりや、地域内での共助のはたらきを助け、近隣住民で誰かが困っているときや危険であるときに助け合うという関

係性の構築にも繋がるだろう

- 地域に関する歴史的な事柄を知っておけば、地域の方々に受け入れられやすくなったり、地域に興味を持つことで、その地域の課題が見えやすくなるのではないか